

# “誰にとってもやさしいまち” を目指して

## 障害ってどこにあるの？社会モデルという考え方

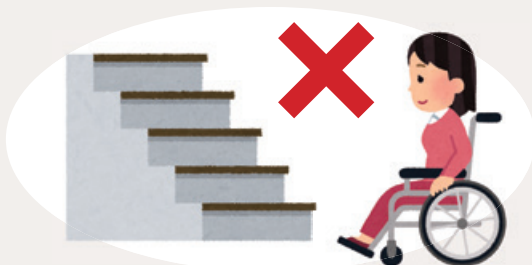
個人モデル  
(これまでの考え方)



社会モデル  
(現在の考え方)



障害の社会モデルは、障害とは、個人の病気や外傷などから生じるものではなく、社会に存在する障壁(バリア)によって生じるものであるという考え方です。ちょっとした段差によって自由に移動ができなかったり、文字だけ・音声だけの発信によって正しい情報が得られなかったり、社会の間にはたくさんの障害があります。



「段差を上ることができない」「情報を入手できない」など、障壁となっているバリアを取り除くことができれば、誰もが同じ場所で分け隔てなく生活していくことができます。障害のあるなしに関わらず、誰にとっても暮らしやすい「ともに生きるまち日野」を市民全員でつくっていきましょう。

### まずは知ることから

#### こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害とは

脳の病気や頭のけがから、脳が大きなダメージを受け、記憶力や判断力などの低下が起きることで、ある日突然、誰でもなりうる障害です。「新しいことが覚えられない」「ミスが多発する」「感情や欲求のコントロールが難しくなる」など、症状・程度は人それぞれです。

生活や環境を整えながら、脳疲労に気を配り、自分らしい生活に向けリハビリをしていきます。

#### 「高次脳機能障害ってなに？」パネル展

「高次脳機能障害」についてのパネルを展示します。

日 12月1日(木)～28日(水)午前8時30分～午後5時15分

場 七生支所展示スペース

内 「症状のいろいろ」「回復への道のり」などのパネル展示

問 日野市高次脳機能障害者相談支援センターつくし(☎070-1316-8800)、市障害福祉課(☎042-514-8489)